

(様式 2)

議事録番号

提出 2007 年 01 月 15 日

会合議事録

研究会名：第 1 回結晶化学研究会会合

(茨城県中性子利用促進研究会個別研究会「分子反応場研究会」との合同会議)

日 時：2006 年 8 月 26 日 (土) 13:30-17:10

場 所：株) 三菱総合研究所 2 F 大会議室 (東京都千代田区)

出席者：合計 3 2 名 (議事録記載者, 尾関智二・小澤芳樹)

議題：プログラム

- (1) 茨城県中性子利用促進研究会個別研究会「分子間反応場研究会」の紹介
東京工業大学 尾関智二
- (2) SPring-8 利用者懇談会研究会「結晶化学研究会」の紹介
兵庫県立大学 小澤芳樹
- (3) 「茨城県の J-PARC への取組み」
茨城県企画部 林真琴
- (4) 「中性子による単結晶構造解析について」
東京工業大学 尾関智二
- (5) 「J-PARC 施設の紹介、装置の紹介」
茨城大学 田中伊知朗
- (6) 「中性子単結晶構造解析による結晶相反応の解析」
日本原子力研究開発機構 大原高志
- (7) 「*ab initio* 分子軌道法で分子間相互作用をどこまで正確に計算できるか」
産業技術総合研究所 都築誠二
- (8) 「放射光による光励起単結晶 X 線構造解析」
兵庫県立大学 小澤芳樹
- (9) フリーディスカッション

議事内容：

結晶化学分野の研究者にとって最近関心が高まっている中性子回折実験の研究状況を知る目的で、茨城県中性子利用促進研究会個別研究会「分子反応場研究会」との合同会議をおこなった。プログラムしたがって、本研究会の活動状

況の紹介と，平成 20 年度に稼働予定の J-PARC 茨城県ビームラインの建設進捗状況について報告があった．さらに放射光 X 線および中性子線を利用した結晶構造の研究に関する講演があった．放射光 X 線回折法と，中性子線回折法を相補的，効果的に組み合わせた研究を展開させる上で，研究者にとって有意義な議論がなされた．

以上